

#5 電子マネー、Micropayment、ICカード

Yutaka Yasuda

電子商取引と電子マネー

- 電子商取引(Electronic Commerce)
 - 定義は現在曖昧
- 電子マネー(Electronic Money)
 - デジタル化された現金
 - つまり現実の通貨と交換できるもの

電子マネー

- クレジット、デビットとの棲み分け
 - 電子マネーはより少額の取引に
- プリペイドは不便
 - スルッと関西にも限界がある
- 少額汎用即時決済システムとして有用

国内での先行例（社会実験）

- 幾つもあるがとりあえず
 - VisaCash : 97-99 頃 神戸、渋谷
 - SuperCash : 99-01 新宿、ネットワーク
 - 共にカードに現金を充填して使用する
 - それほど成功していない

技術的問題点

- システム全体のセキュリティ
 - 不正なアクセス・攻撃による機能停止
- 多様性から来る安全性
 - 1987のBlack Monday（株価暴落）
 - 1988のインターネットワーム（システムダウン）
 - 複数の競った実装
 - 覇権争いも良いが、独占を求めない
 - 相互運用性の確保

プライバシーについて少し

- 匿名性の確保
 - 都市生活者と匿名性
 - ネットワーク生活者にも匿名性が必要
- 現金には匿名性がある
 - 流れるデータから個人の情報を捨てるのは容易
 - 犯罪(マネーロンダリング)にどう対抗するか
 - 匿名性の完全な排除か、確保か

マイクロペイメント

- Pay per Access
 - WWWのような著作物に対する支払い
 - imodeという成功例もある
- 電子マネーの適用可能領域のひとつ
- 実世界でも多様な可能性
 - 高速道路の ETC 料金徴収
 - シンガポールのロードプライシング
 - レンタルビデオ (Video On Demand)
 - きめ細かな課金の実現可能

電子マネーの将来

- 90年代後半に実験するも定着せず
 - 銀行の実験 (MONDEX, ecash)
 - クレジット会社の実験 (Visacash, Supercash)
- 誰が電子マネーを定着させるか
 - どの事業体にそのメリットがあるか
- 日本は世界でも有数の現金国
 - 米国ではクレジット
 - 欧州ではデビット (ドイツは現金利用多し)

最近の立ち上がり

- 非接触ICカード普及
 - Edy (エディ) am/pm で物販に
 - Suica と Icard と PiTaPa (物販への展開も)
- 電子マネーまであと一歩
 - Rechargeble Prepaid との違い
 - しかし電子マネーが意外に身近なところから立ち上がってきた、ということか?
- SONY の存在
 - FeliCa

携帯との融合

- おサイフケータイ
 - i-mode サービスで充填
 - 2005.4 対応機種 300 万台突破
 - ボーダフォンも対応機種を投入
- なぜ携帯電話と融合したがるのか?
 - 単に常時携帯してるから、とか通信経路があるから充填が楽、といった利便面だけでなく

PCとの接続

- PC での利用
 - PaSoRi 読み取り機
 - SONY VAIO type H などにも搭載
 - インターネット経由で充填、買い物
- これで何か面白い変化が発生する可能性はないか?